



肢・病併置校 東京都立光明学園学校通信 小・中学部卒業式記念号 令和2年3月24日号  
東京都立光明学園

# 光明の学び

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

臨時休校が続く中で感染拡大を防ぐために、全学園生の御家族が心を一つにして、それぞれができる事を見出しながら日々を重ねてくださいました。その結果として開催が心配された「卒業式」を無事に挙行することができました。皆様の御協力に深く感謝申し上げます。

## 今後の「学校教育再開」等に向けての情報発信

文科省及び都教委から今後示される予定の新方針を受け次第、本校としての判断を（春休み中であっても）速やかにフェアキャスト等を用いて、**中学部・高等部への進学のお家庭にもお伝えしていきます。**

## 祝：小・中学部卒業、進学おめでとうございます！！

6年間、3年間の学業を修め終えて進学する小・中学部卒業生の皆さん、体力を養い健康を維持しながら、学習を積み上げ、この大きな節目を迎えられたことを心から祝福します。卒業おめでとうございます！

## 祝：本校高等部卒業、両部門22名が飛び立つ！

3/19（木）、高等部3年間の学びを心と頭と体に修め終えた本校S部門19名、B部門3名の若者が、体育館に設けた厳かな式場に臨み、高等部卒業証書を手にして、新たなステージへと飛び立っていきました。進学・就労・職業訓練、勉学と道は様々ですが、開校期から学んだ学園生であることを一生の誇りとして、それぞれの世界で存分に活躍してほしいと願います。

## 祝：卒業、そよ風分教室・病院訪問学級で卒業式！！

3/24（火）の午後に、そよかぜ分教室卒業式を挙行しました。治療と並行しながらの授業や自習課題にも進んで取り組む真摯な先輩の姿は、入院している多くの学園生の模範でした。式場には病室の卒業生に代わって分身ロボットが出席し、リアルタイムで式を中継しました。卒業生も分身ロボットを通して式辞を聞き、呼名に応えました。一方、都内の各病院で病院の定めた衛生ルールに従って卒業式を行う場合もあります。式を通して退院後の活躍を確信する場でもあります。今年度は感染予防のために挙行できず大変残念ではありますが、高等部3年間で学んだ経験を生かして新たな一歩を踏み出すことを祝福いたします。卒業

おめでとうございます。

## 卒業生の母校である「光明学園」の歴史を知ろう！

節目の時に、母校の歴史を学びましょう。

**光明学園の光明とは？**「光」の字は、人が火籠を頭上に掲げて周囲を照らす象形文字です。明の字は、日は窓を表し、月の光が窓の中に射し込む程明るい様との意味です。母体校名「光明学校」の開校時（昭和7年）に、永田秀太郎東京市長（今の都知事に相当）が「児童の将来の幸福」を願ってコウメイと命名したからだそうです。永田市長は、書籍「我愛す偉人 諸葛孔明（ショカツコウメイ）」を著されています。（国会図書館所蔵）その後は県知事や大臣を歴任されました。（昨年の大河ドラマ「いだてん」にも市長として登場）

**S部門の母体校の歴史から：**日本初の公立肢体校「東京市立光明学校」が昭和7年に麻布で開校。結城初代校長先生は、麹町小学校病弱学級で実践後、校長に着任。病弱教育のメソッドを「矯正体操」として取り入れ、現在の自立活動の基盤となりました。昭和21年に日本初の中学併設、さらに昭和33年には日本初の高等部設置。これが全国に中高設置が広がるきっかけとなりました。昭和34年に都内初のスクールバス運行。そして今も医療的ケアに関する事業指定校として先駆けるパイオニア校です。

**B部門の母体校の歴史から：**府県立健康学園の第1号である「東京府立久留米学園」は、ほぼ光明学校と同時期の昭和11年に開校。昭和17年には在籍児童数477名に達しました。昭和25年に中学部設置。久留米出身の方は各界のリーダーとして活躍中。

**光明学園の校歌：**昭和35年に制定された母体校校歌を新学園でも歌い継いでいます。校歌作曲者は岡本敏明先生。岡本先生は、童謡「どじょっこ・ふなっこ」の作曲、「かえるの合唱」（ドイツ民謡）の作詞者として知られています。

校長 田村 康二郎